

梅雨の候、皆さんいかがお過ごしですか？

私も半年以上前から短い距離ながら健康のために、自転車通勤をするようになったので、以前より天気を気にするようになりました。

ところで、平成27年7月10日で井上小児科皮フ科は開業20周年を迎えました。思えば窓の外の雨を眺めながらオープンに向け準備に追われていたことを思い出します。この20年で私は、それなりに年をとりました。小児科なので当たり前ですが、患者さんは生後間もない赤ちゃんから学齢期のお子さんまで、いつもクリニックは活気にあふれています。もちろんそれをニコニコ見守る大人の皮膚科の患者さんもいますが・・・

今年の10月で、私も赤いちゃんちゃんこの還暦、そして12月には念願の予防接種棟も完成します。スタッフともども、初心に戻って最高の医療を提供するためがんばります。

院長 井上 亮



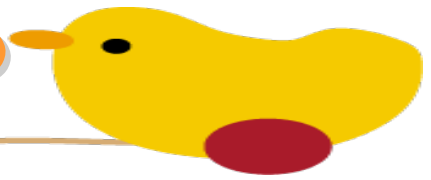
～井上小児科皮フ科 20年のあゆみ～

1995年	7月	井上小児科皮フ科 開院
1996年	9月	医薬分業開始
1998年	5月	院内報「すくすく」創刊
		当日電話予約制開始
	6月	医療法人夢の輪会 設立
	12月	新患1万人到達
2001年	1月	診療所増築
	11月	1日の来院患者数200人到達
2004年	4月	病後児保育室「とんことり」開室
	5月	新患2万人到達
2006年	11月	インターネット予約開始
2007年	12月	新患3万人到達
2008年	10月	「とんことり」病後児から病児保育室へ変更
2013年	7月	新患4万人到達
2015年	4月	「とんことり」幸手市からの委託を受ける
	7月	開院20周年





赤ちゃんのうがい？



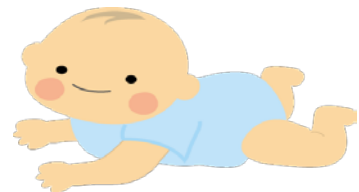
うがいができるようになるにも個人差がありますが、小1にもなればだいたい出来るようになり、中には年中、年長さんでも出来る子もいます。鼻も4、5歳でも上手にかめない子もいますし、2歳半くらいでかめる子もいます。

鼻やのどの上気道の粘膜にウイルスを長時間くっつけて増殖させてしまうことで、かぜをひきます。なので、上気道にくっついたかぜのウイルスを洗い流すことがかぜ予防になります。

かぜのウイルスは上気道で増えるのですが、もし飲み込んで胃袋に入ってしまったら、そこで死んでしまうのです。

なので、うがいができない小さい子の場合、お出かけから帰ってきたら、手を洗い、口のまわりをきれいに拭き、お水やお茶を飲ませてあげるとかぜ予防につながります。

それと、鼻毛がない分、上気道にウイルスが入りやすくなるので、こまめに鼻の穴もそうじしてあげることが大切です。



【 きんぎょがにげた 】



題名をみた時、犬やネコなどの動物は逃げるというイメージがありますが、金魚が逃げるというイメージはないので、面白い印象を受けました。一匹の赤い金魚が水槽の中から飛び出してカーテンやお皿の中など色々なところに隠れます。どこに隠れているのか探す楽しさを味わえます。最後のページでは、いったいどこに隠れているのでしょうか？

作者 五味 太郎

保育士 青木 三奈



今号のスタッフ一言日記

暑い日が続きますね。

みなさん夏バテなどしていませんか？

外は暑いし、紫外線は気になる・・・そんな時は読書などいかがですか？

私はよく図書館を利用していますが、今はインターネットで本の予約ができたり、雑誌はもちろん、DVDも借りられますよ。ただ、今流行中の本はなかなか借りられません(*´Д`)

医事課 和久井 里恵